



Made in FUKUSHIMA

株式会社日本遮蔽技研 会社概要書

2023年9月



目次

1. 会社概要
2. 創業の想い
3. 事業ドメイン
4. 扉 放射線分野
5. 放射線関連分野のビジネスモデル
6. 校正センター
7. 放射線測定関連製品
8. 扉 1F廃炉に向けた開発関連分野
9. 災害対応ロボット開発の実績
10. レーザー除染システム
11. 扉 危機管理と人工知能
12. 獣害対策用画像認識AI「あいわな」
13. 扉 あんしん生活創造企業として
14. 安心生活創造製品
15. むすび



1 会社概要

「共に生きる」
わたしたちの企業理念は福島県内で地場産業を創造し、雇用創出と地域の活性化を図り、日常生活の快適安心安全を実現することです。



(会社名) 株式会社日本遮蔽技研(ニッポンシャヘイギケン)



株式会社 日本遮蔽技研

グループシンボルマークは、「共に生きる」という元気グループの理念を象徴しています。私たちが「共に生きる」ために大切にする3つの核は、まわりを動かし活力となる「情熱」と、困難にも怯まず、真摯に「挑戦」していく気持ち、そして、互いに「信頼」し合うことです。また三位一体のデザインは、お客様と地域社会、そして私たちが強く結びつきながら、未来を切り拓いていく姿を表しています。

(所在地) 〒969-1113 福島県本宮市本宮坊屋敷276番地
<http://www.nipponshaheigiken.com/>

(代表者) 平山 泉 (ヒラヤマ イズミ)

(資本金) 2800万円 (資本準備金:500万円)

(連絡先) 電話 0120-728-121 FAX 0243-24-9354

(設立) 平成22年3月 【創業平成23年8月】

(事業内容)

- 放射線測定機器の校正
- 放射線遮蔽技術の研究
- 放射線遮蔽機器設計・製造・販売
- 放射線モニター機器設計・製造・販売
- R I 輸送容器設計・製造・販売
- レーザー除染システムの開発・製造・販売
- レーザー除染業務の受託
- ロボット・AIの開発・製造・販売
- 危機管理関連製品の取扱

(親会社)

株式会社サンガジャパン 元気グループ
<https://www.sanga-kaigo.co.jp/>

(許認可)

- 放射性同位元素等使用許可 〈原子力規制委員会使第5914〉
- 古物商許可機械工具商 〈福島県公安委員会許可 第251300000381号〉
- ISO/IEC 17025:2017 認定98357 PJLA

(受賞)

- 2017年度 福島ベンチャーアワード 優秀賞
- 2020年度 福島県発明協会会長賞
- 2022年度 こおりやま産業博アワード グランプリ

(知財)

商標登録11件うち2件海外、意匠登録3件、実用新案登録2件、特許登録1件

2 創業の想い

東日本大震災・福島第一原子力発電所の事故に対応すべく創業しました。放射線遮へい、測定、レーザーブラストシステムの開発や、BCP対策に活用出来る製品やシステムのご提供を通じて、福島の復興と安心して生活出来る社会の実現に貢献したいと存知ます。

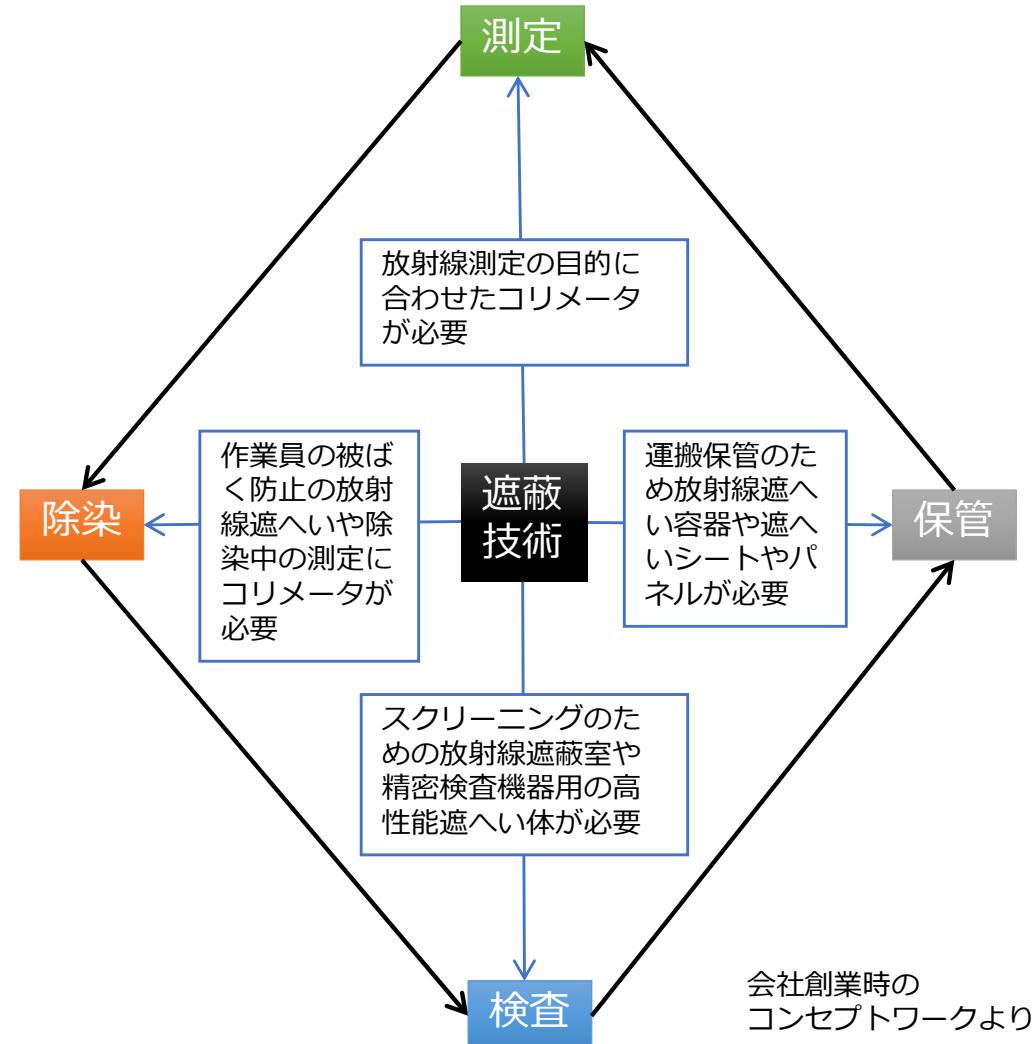
現場での技術研究・研鑽を積み重ね、県内での課題解決が、ひいては日本の課題解決につながる有効な製品やサービスを醸成し「新生福島」に貢献したいと存じます。

株式会社日本遮蔽技研
創業者 平山貴浩

「共に生きる」
わたしたちの企業理念は福島県内で地場産業を創造し、雇用創出と地域の活性化を図り、日常生活の快適安心安全を実現することです。



廃炉・放射能汚染対策におけるトータルバリューチェーン構造イメージ



3 事業ドメイン

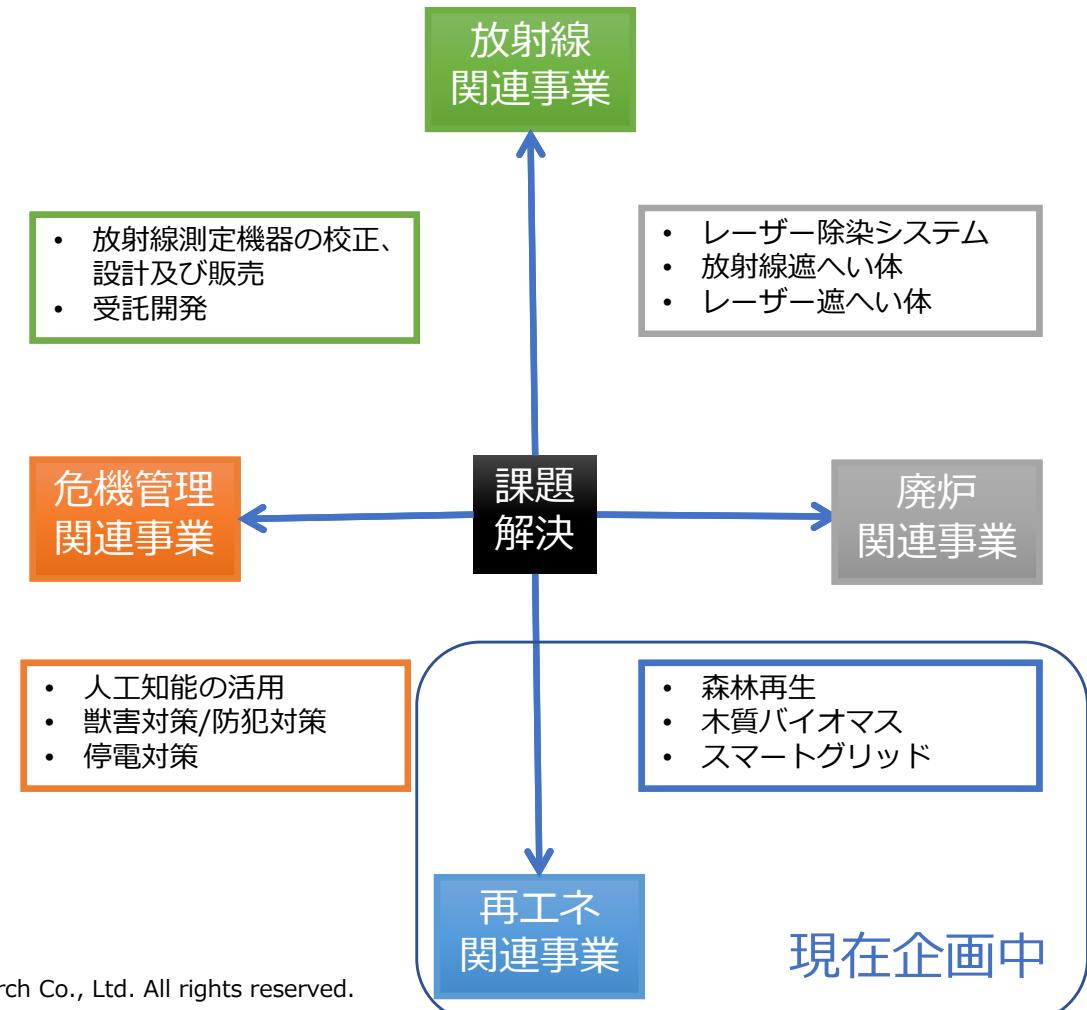
- ・ 県内は震災と放射能汚染により多くの住民が避難し、現在では、逆に帰還が徐々に進んでいる状況です。なかば人工的に超高齢化、過疎地域が発生しました。
- ・ 県内の諸問題の根底に、放射能汚染と、労働人口減少問題が存在しております。
- ・ 福島県の課題となる技術テーマを思索した結果、「4つの課題」が今後「新生福島」の鍵を握ると考えております。
- ・ その一つ一つを、きちんと解決して参ります。

「共に生きる」
わたしたちの企業理念は福島県内で地場産業を創造し、雇用創出と地域の活性化を図り、日常生活の快適安心安全を実現することです。

Made in FUKUSHIMA

福島県内の課題 ニッポンの課題

1. 放射線モニタリング
2. 廃炉への貢献
3. 危機管理（人口減少社会への対応）
4. 再生可能エネルギー利用促進



4

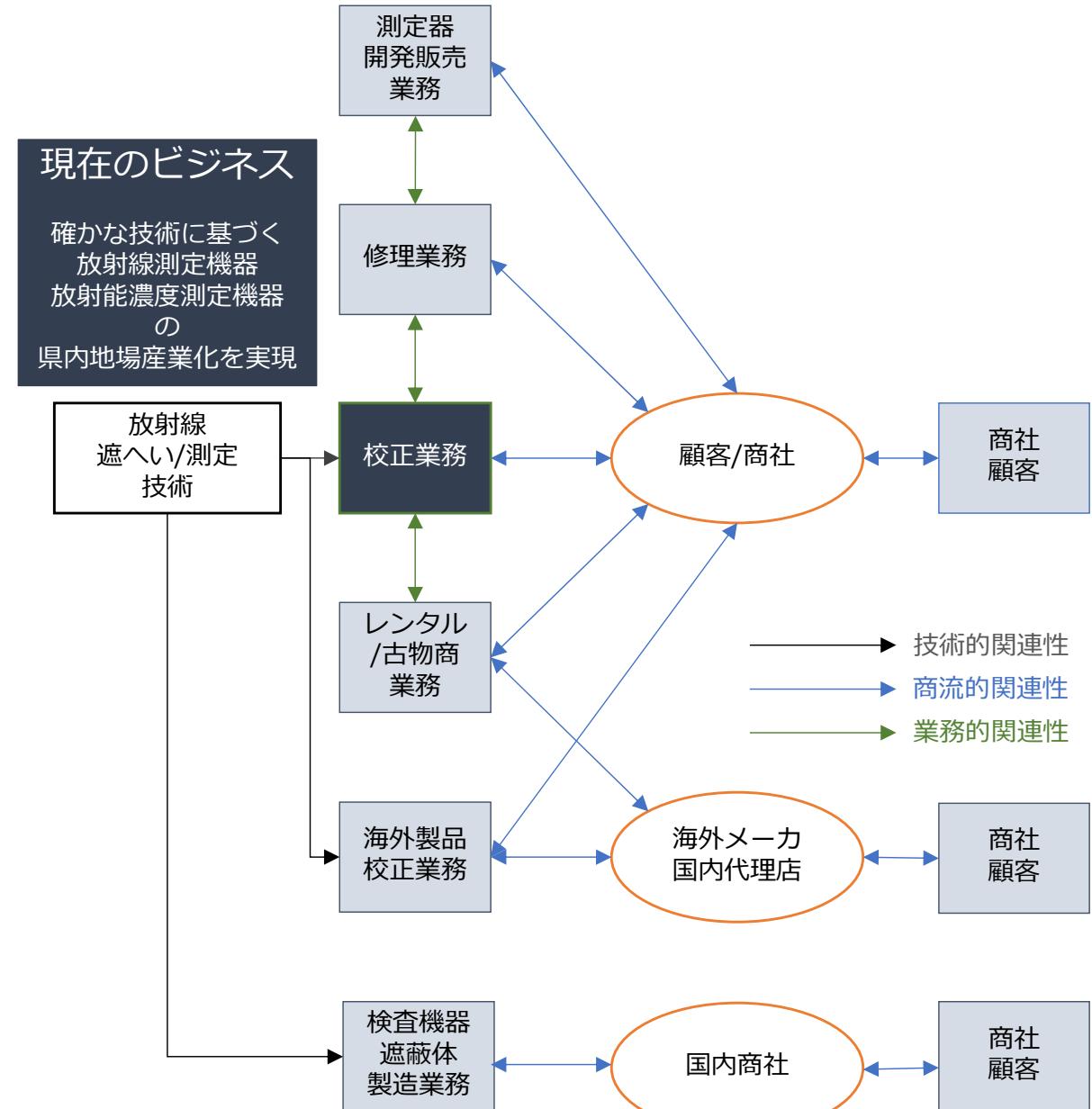
放射線分野



Made in FUKUSHIMA

5 放射線関連分野のビジネスモデル

- 放射線は遮へいが出来てこそ、「放射線の利用」が可能になります。特許製品のコリメータ EARTHSIELD®からスタートし、ISO/IEC17025:2017認定の、放射線測定器校正機関を福島県内で実現出来ました。
- 理化学系商社、医療系商社と提携し、福島県内で放射線測定器の点検、校正、修理、受託開発販売、機器レンタルおよび中古品の流通を行っております。
- 海外メーカーの国内代理店からは、海外製放射線測定器の校正および放射能濃度検査装置の点検校正業務を受託しております。



6 福島校正センター

ISO/IEC 17025:2017 認定98357
米国PJLAにて認定を受けております

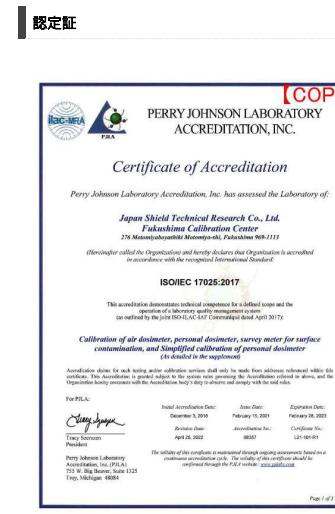
「共に生きる」
わたしたちの企業理念は福島県内で地場産業を創造し、雇用創出と地域の活性化を図り、日常生活の快適安心安全を実現することです。



第1照射室



第2照射室



ISO17025認定書 (英文)
Calibration of air dosimeter and personal dosimeter



ISO17025認定書 (和文)
空間線量計及び個人線量計の校正

7 放射線測定関連製品

「共に生きる」
わたしたちの企業理念は福島県内で地場産業を創造し、雇用創出と地域の活性化を図り、日常生活の快適安心安全を実現することです。

Made in FUKUSHIMA

福島県内で測定器の使用環境を調査し、現場のニーズに合った製品を、提供しております。

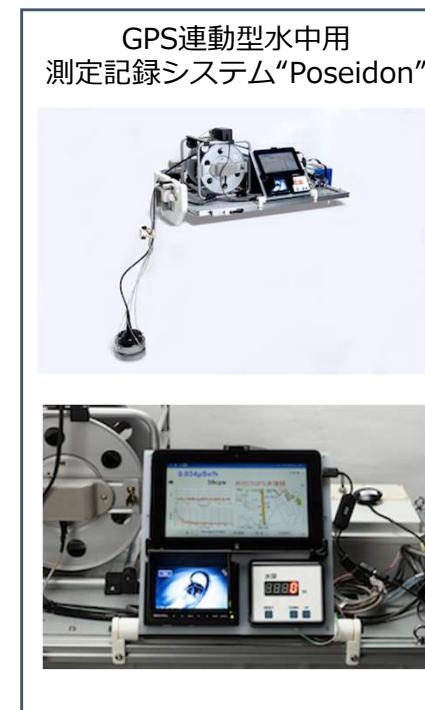
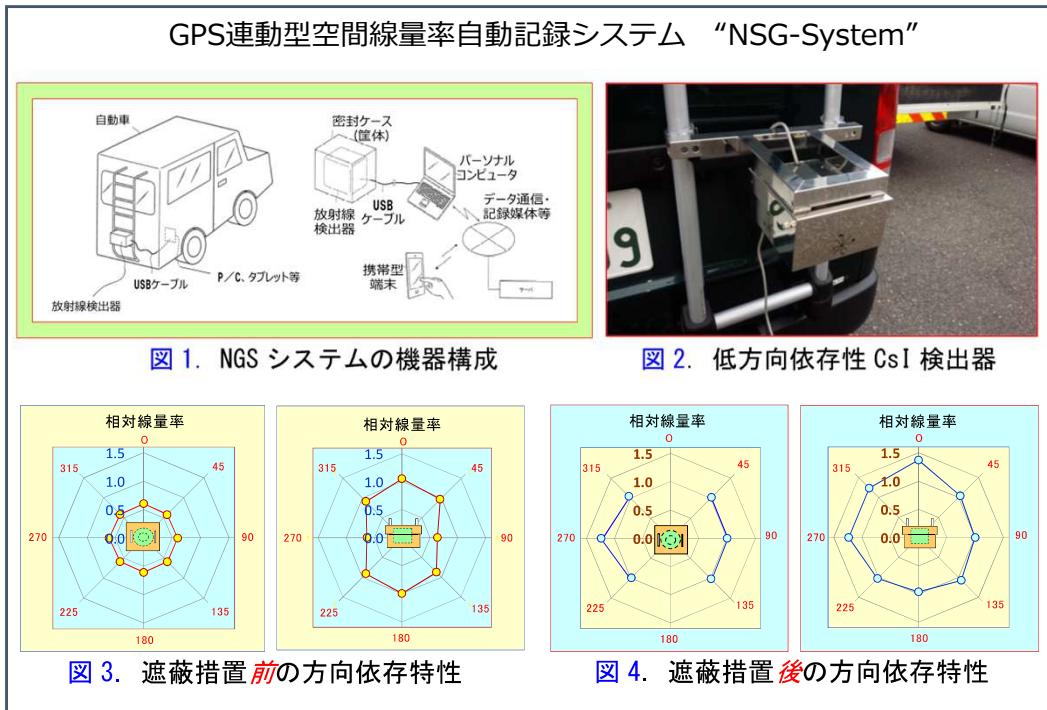


EARTHSHIELD® (コリメータ)

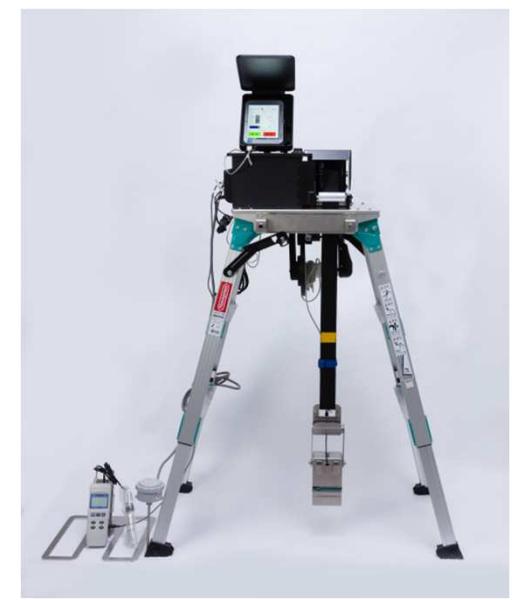
- ・ 従来の放射線測定は、放射性物質がない環境での測定が前提でした。
- ・ 県内の測定環境を考慮し、都立大大学院にて研究を積み重ね、除染の効果をはっきり認識できる測定方法と、そのための合理的な治具を確立しました。知的財産権化しております。
- ・ 除染前後の測定に、県内外で広く利用されております。



高性能放射能濃度測定システム
"Monster"



GPS運動型地中用
測定記録システム "Mogurah"



福島第一原子力発電所 廃炉に向けた 開発に関する連分野



廃炉に向けた測定→除染→検査→保管
一連の流れをワンストップで実現する
技術集積を目指しています

9 災害対応ロボット開発の実績

「共に生きる」
わたしたちの企業理念は福島県内で地場産業を創造し、雇用創出と地域の活性化を図り、日常生活の快適安心安全を実現することです。

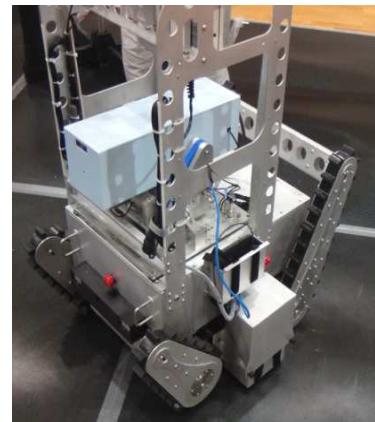
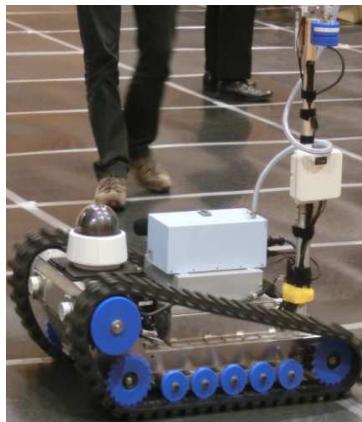
Made in FUKUSHIMA

県内外の大学等様々な研究機関や、地元企業と幅広い連携をしながら、廃炉・災害対策、社会インフラの管理や農林畜産業に応用可能な技術を開発して参ります。

No. 1. 日本原子力研究開発機構委託業務 1F偵察ロボット
(地上用ロボット)

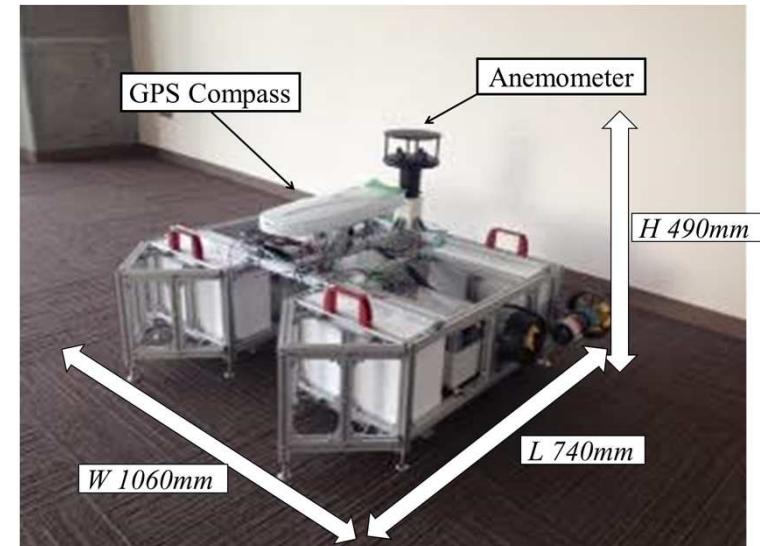
No. 2. 東北大学工学部航空宇宙工学永谷研究室との共同研究
(水上用ロボット)

No. 3. 福島県平成26年度災害対応ロボット産業集積支援事業
(水中用ロボット)



No.1
地上ロボット

No.2
水上ロボット



No.3
水中ロボット



10 レーザー除染システム ストリークブラスター

「共に生きる」
わたしたちの企業理念は福島県内で地場産業を創造し、雇用創出と地域の活性化を図り、日常生活の快適安心安全を実現することです。



株式会社 日本遮蔽技研



手動・可搬式レーザー除染機 ストリークブラスター

2次汚染物廃棄物の少ないレーザーによる完全除染技術
金属・コンクリート向け、新時代の低成本除染装置技術

1 2次汚染物が少ない

従来技術のブラストでは研削材が2次汚染となっていましたが、レーザーでは2次汚染研削材は発生しません。

2 検出限界以下(完全除染)が可能

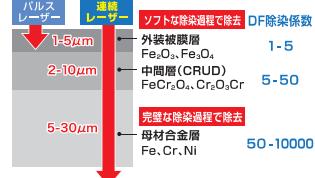
対象物表面を40 μm以上削り取り、昇華・熱破壊させることにより、DF(除染)係数: 10000あるいは検出限界以下まで実現



1次冷却水系ステンレス配管内面の汚染深さと除染係数の関係(IAEA基準)

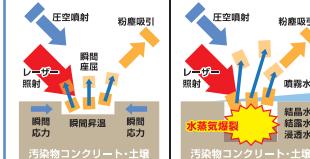
発電用原子炉の1次冷却水系配管の表面層

除染係数 = 除染前の除染濃度 / 除染後の汚染濃度 (Bq/kg)



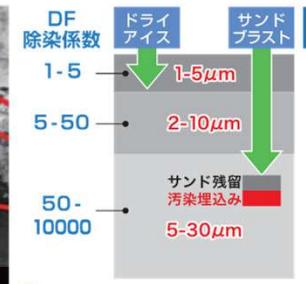
コンクリート板高速除染 2kWレーザーを用いて20m²/時間

レーザー照射されたコンクリート(64%骨材24%水12%炭酸カルシウム)は、結晶水・自由水の水蒸気爆裂と炭酸カルシウムの脱炭素により剥離される



手動・可搬式レーザー除染機 ストリークブラスター

技術



残留グリッドの非発生

ブラスト除染では硬い研削材の埋め込み・押し込み・残渣から二次汚染物質が発生

除染係数(参考)

40 μm以上、削り取ることで、DF10000あるいは検出限界以下を達成

用途



配管の除染に



道具の除染に



コンクリート壁の除染に



塗装・その他の剥離に

論文・記事掲載(一部)

- ①レーザー研究
2012年3月 40巻3号
- ②デコミッショニング技法
2013年9月 48巻
- ③【日本国特許】
No.5610356 2013年6月
特開 2013-108977
- ④【米国特許】
No.US9174304B2 2015年11月
- ⑤【欧州特許】
EP2772922B1 2017年11月
- ⑥光技術コーディネートジャーナル
OPTRONICS 2017年11月431巻

除去した放射性物質の分離・回収・測定まで
ひとつのソリューションになっております

11 危機管理と人工知能

「共に生きる」
わたしたちの企業理念は福島県内で地場産業を創造し、雇用創出と地域の活性化を図り、日常生活の快適安心安全を実現することです。



- 平成29年(2017年)、福島県ロボット関連産業基盤強化事業に採択いただき、画像認識A.I.(人工知能)の独自開発に着手することができました。
- A.I.を活用した害獣の監視カメラシステム・画像解析システム・通信システム等実用化を推進、令和2年(2020年)度、製品化に成功し、大手ゼネコン、地方自治体に納品しております。
- 少子高齢化や人口減少が進むなか、生活安全を一定水準に、これまで通り維持していくことが、難しくなることが予測されます。
- いまも、そしてこれからも、わたくしたちの福島県が快適安心安全な住みやすい地域であり続けてほしいと、心より祈念いたします。

12 獣害対策用画像認識AI「あいわな®シリーズ」

「共に生きる」
わたしたちの企業理念は福島県内で地場産業を創造し、雇用創出と地域の活性化を図り、日常生活の快適安心安全を実現することです。



ワナ連動システム「あいわな」

AI画像認識システムが獣種を特定して自動で扉を落とします。
他の動物の中からイノシシのみをAIが判断

AI画像認識システムが獣種を特定して自動で扉を落とします。
他の動物の中からイノシシのみをAIが判断

すでに使用しているワナに取付可能！

成獣の捕獲頭数設定も可能！

クラウドが通信機能付きトレイルカメラの獣種を自動で判断！
緊急通報システム「あいわなクラウド」もございます！

害獣出没早期警報システム「あいわなクラウド」

カメラの画像をサーバーに送信
サーバー上のAIが獣種を判定
どこでいつ出沒したか即時警報メールを送信

現地の取り付けた監視カメラの映像から、クラウドサーバーのAIが獣種を判断します。作動時に特定のメールアドレスに対して通知を行い、離れた場所から監視することを可能にしたシステムです。

カメラ監視
+通信機

獣害対策用サーバー

担当者

害獣警報システム運用までの流れ

- 通信機能付きのトレイルカメラの用意
全て、弊社で準備いたします。
ソーラー発電と通信機能のついたトレイルカメラを用意・設定し、ご提供します。
- 警報メールの受信用アドレスの用意・登録
警告メールの送り先をお客様のご希望に合わせて設定します。
- 以上の用意が終わったら運用開始

令和5年度郡山市チャレンジ新製品認定事業 認定製品

13 あしん生活創造企業として

「共に生きる」
わたしたちの企業理念は福島県内で地場産業を創造し、雇用創出と地域の活性化を図り、日常生活の快適安心安全を実現することです。



- ・ 地震、台風、感染症など、社会的な危機管理に対する備えは「平時」に考えておかないと実現しません。
- ・ 「あのとき、これががあれば良かったのに」という経験を経て、被災者の目線で様々な非常時の製品を試用し、吟味しております。
- ・ 皆様の安心した生活には是非お役立てください。



14 安心生活創造製品

「共に生きる」
わたしたちの企業理念は福島県内で地場産業を創造し、雇用創出と地域の活性化を図り、日常生活の快適安心安全を実現することです。

Made in FUKUSHIMA



アクロス クローラ

GeoPita
モノの位置をピタッと表示

GeoPita



UVC 222nm 人体無害 殺菌滅菌照明器

無停電電源機能付き
可搬型蓄電池
「EP500」

停電を感じし自動的に蓄電池から電源供給を行います



BLUETTI EP500

可搬型蓄電池

15 むすび

みなさまの快適安心安全な暮らしと
健康長寿社会の実現に貢献できるよう
鋭意努力して参ります
これを縁に
末長くよろしくお願い申し上げます



株式会社 日本遮蔽技研



「共に生きる」
わたしたちの企業理念は福島県内で地場産業を創造し、雇用創出と地域の活性化を図り、日常生活の快適安心安全を実現することです。



共に
生きる



Genki Group

